

平成19年3月分電力需給状況

需要の概要

平成19年3月の販売電力量は、23億3千4百万kWh時、前年比 99.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、暖冬の影響などから、前年比 95.4%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因はあったものの、自家発の廃止などから、前年比 100.7%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、鉄鋼などが前年を上回ったことから、前年比 105.1%となった。

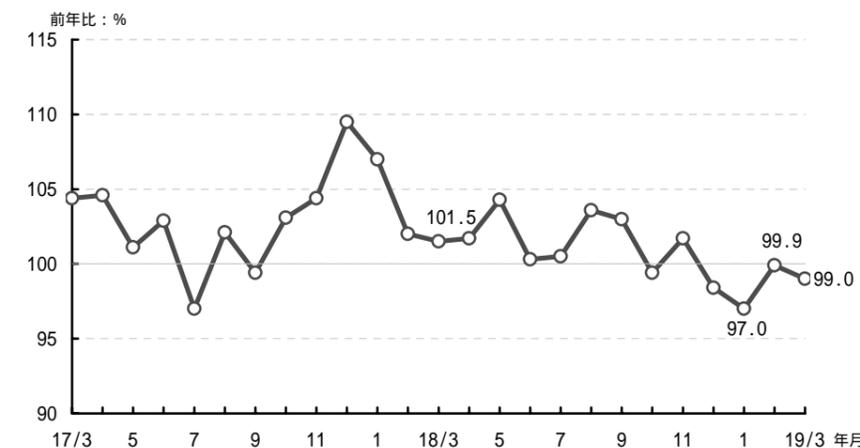
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	779	95.4
	電 力	159	91.3
	計	938	94.6
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	492	100.7
	産業用電力	904	103.1
	うち大口電力	(705)	(105.1)
	計	1,396	102.2
販売電力量 計		2,334	99.0
融 通		619	336.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		19/3月	19/2月	19/1月
紙・パルプ	129	108.1	114.5	101.7
化 学	144	98.9	105.9	104.6
鉄 鋼	89	112.6	100.0	100.9
機 械	142	101.1	100.4	100.3
そ の 他	201	107.7	105.7	107.9
合 計	705	105.1	105.5	103.6

(参考2) 4県都平均気温

()

	19/2月				19/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	8.5	9.1	9.5	9.0	9.8	7.6	13.6	10.4
平年差	3.2	2.6	3.0	2.9	1.9	1.6	3.0	1.1
前年差	3.3	1.7	0.2	1.8	1.4	0.7	3.7	1.5

供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により、前年比 138.8%となった。
- 水力は、湯水により、前年比 58.5%となった。
- 火力は、水力の減少や融通送電の増加により、前年比 113.5%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(46) 1,544	138.8	出水率 64.3% (18年3月出水率 111.9%)
水 力	(6) 186	58.5	
火 力	(48) 1,607	113.5	
発受電計	(100) 3,337	117.3	
その他	8		
供 給 計	3,329	117.0	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(99.0) 537	(99.0) 374	(99.0) 813	(99.1) 610

注：()内は前年比